



歳入の特徴

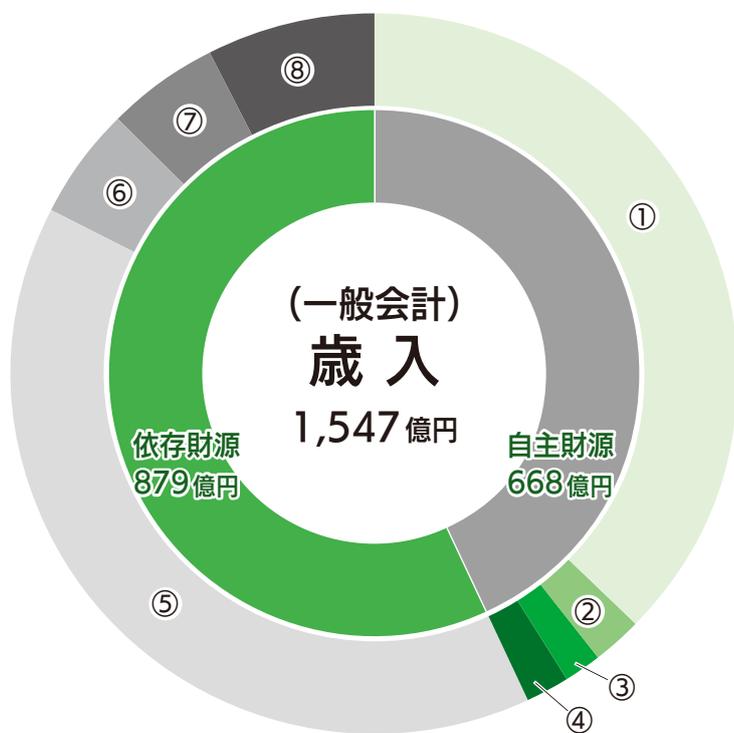
新型コロナウイルス感染症の影響等により、市税収入全体では前年度より約2億円減少しました。一方で、国庫支出金が約416億円増加しました。その結果、歳入は前年度より約422億円増加し、過去最大規模となりました。

令和2年度 決算の概要

財政課 ☎224-5618
☎225-2895



*記載している金額等は表示単位未満を四捨五入しています。そのため、差し引きや合計が一致しない場合があります。

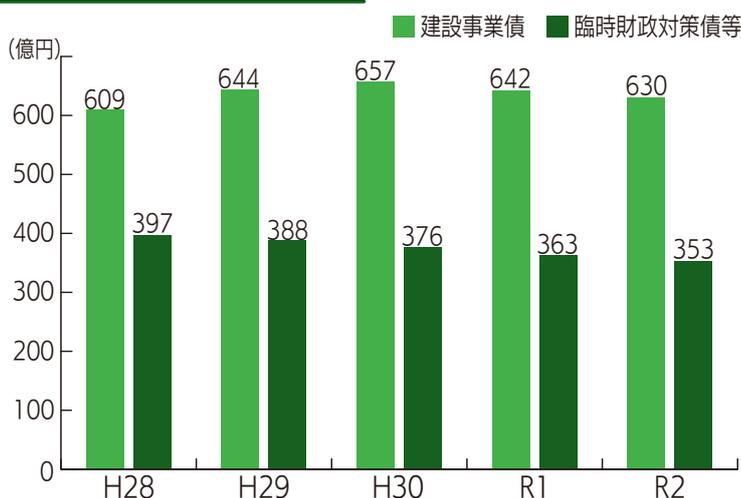


	項目	金額	割合
	市税		
①	市民税・固定資産税・軽自動車税など	577億円	37%
	繰越金		
②	前年度から繰り越したお金	34億円	2%
	諸収入		
③	貸付金の元金収入など	26億円	2%
	その他自主財源		
④	市の施設の利用率、証明書発行手数料など	30億円	2%
	国庫支出金		
⑤	特定の事務・事業のために国から交付されたお金	609億円	39%
	市債		
⑥	国や金融機関から借りたお金	79億円	5%
	県支出金		
⑦	特定の事務・事業のために県から交付されたお金	79億円	5%
	その他依存財源		
⑧	地方消費税交付金、地方交付税など	112億円	7%

市債残高の推移

市債残高は、前年度に比べ約22億円の減となりました。

各年度の市債残高は、平成28年度の約1,006億円以降、平成30年度まで増加が続いていましたが、令和元年度の市債発行の抑制によって減少に転じ、令和2年度は約983億円と、5年間で約23億円の減少となりました。



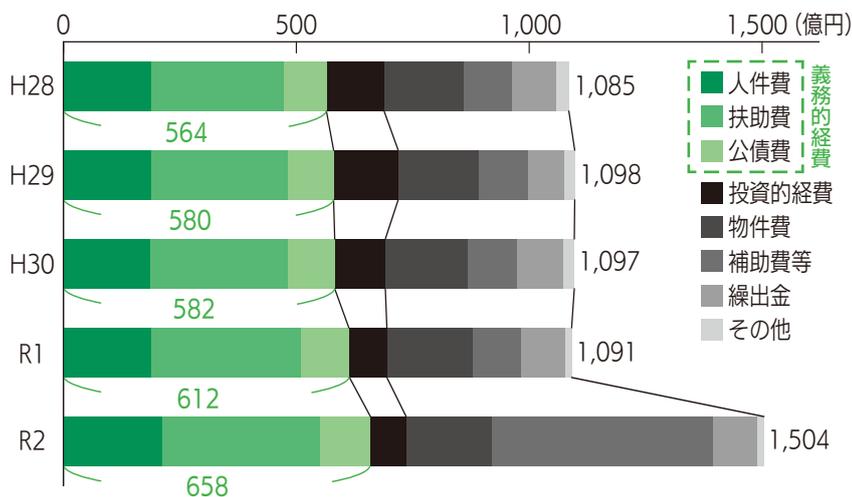
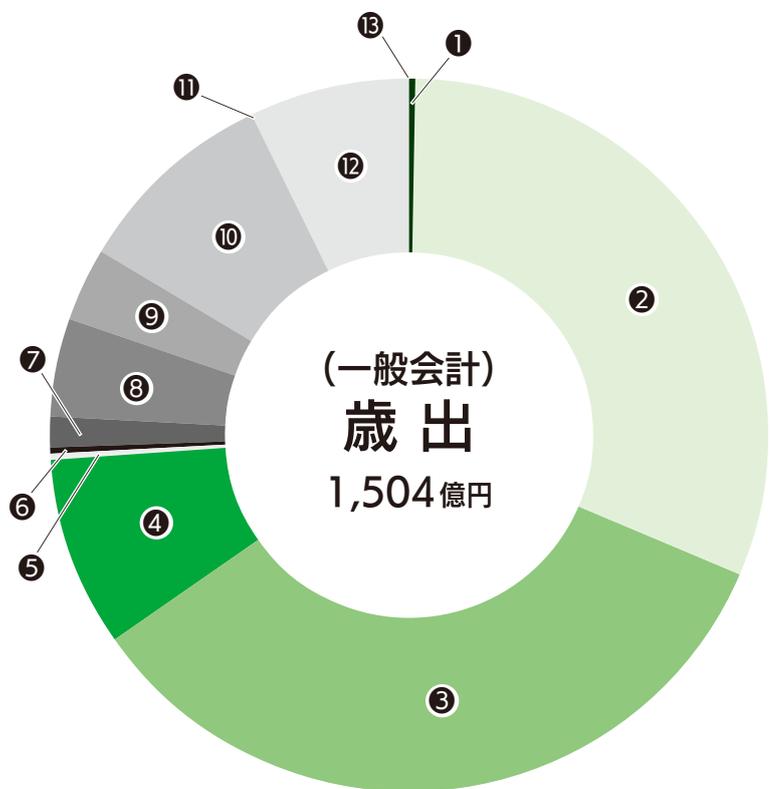
	項目	金額	割合
①	議会費 市議会運営など	6億円	0%
②	総務費 一般的な事務管理・ 徴税・戸籍など	469億円	31%
③	民生費 福祉・保育など	510億円	34%
④	衛生費 保健・医療・環境・ ごみ処理など	129億円	9%
⑤	農林水産業費 農林水産業の振興など	6億円	0%
⑥	労働費 就労支援など	2億円	0%
⑦	商工費 商工業・観光の振興 など	20億円	1%
⑧	土木費 道路や橋の建設など	69億円	5%
⑨	消防費 防災・消防など	49億円	3%
⑩	教育費 教育・博物館の運営 など	139億円	9%
⑪	災害復旧費 自然災害の復旧工事 など	0億円	0%
⑫	公債費 市の借金返済	106億円	7%
⑬	諸支出金 土地開発公社への利子 補給など	0億円	0%

歳出の特徴



新型コロナウイルス感染

症対策の取り組みや医療提供体制の確保等により、衛生費が前年度より約19億円増加しました。このほか、特別定額給付金の給付などにより、総務費が前年度より約359億円増加しました。その結果、歳出は前年度より約413億円増加し、歳入と同じく過去最大規模となりました。



一般会計の性質別歳出額の推移

主に固定的な費用の義務的経費が増加傾向で推移しています。その内容として、社会保障などに係る扶助費が過去5年間で約55億円増加、市の借金返済に係る公債費が過去5年間で約14億円増加しています。一方で、建設事業などに係る投資的経費が減少傾向にあり、過去5年間で約46億円減少しています。



令和2年度に実施した主な事業



新型コロナウイルス感染症対策

- 医療提供体制の整備……8億円
検査体制を確保する医療機関等への補助など
- 感染拡大防止対策……10億円
検査体制の確保など
- 市民生活への支援……365億円
特別定額給付金など
- 地域経済への支援……13億円
中小企業者事業継続緊急支援金など



新型コロナワクチン

教育・文化・スポーツ、環境

- 武道館耐震改修……2億円
- 小・中学校情報教育推進……22億円
GIGAスクール構想の加速化への対応など
- 東清掃センター大規模改修……7億円
焼却施設・リサイクル施設設備の一部更新など



改修後の川越武道館

子ども・子育て、福祉・保健・医療

- 子育て安心施設の整備……8億円
- ひとり親家庭等学習支援事業……0.1億円
- 予防接種の推進……10億円
高齢者等のインフルエンザ予防接種の無償実施など



子育て安心施設「すくすくかわごえ」

産業・観光

- プレミアム付商品券事業……4億円
- 中小企業者事業継続緊急支援金……7億円
- グリーンツーリズム整備推進……0.5億円
農産物直売所改修工事など



プレミアム付商品券

都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活

- 川越駅西口市有地利活用事業……2億円
川越市民サービスステーションの開設など
- 川越駅東口駅前広場改修……9億円
- 旭町1丁目公園整備……1億円



川越市民サービスステーションが入る「U PLACE」

家計に置き換えると……

市の歳入・歳出は、家計の収入・支出と単純比較できるものではありませんが、仮に年収360万円(月収30万円)の家計に置き換えると、このような家計簿になります。

収入		支出	
給与	26.7万円	食費：人件費	4.1万円
うち基本給：市税	11.2万円	医療費・介護費：扶助費	6.6万円
うち手当：地方交付税・国県支出金など	15.5万円	光熱水費・通信費・生活用品費：物件費	3.5万円
パート収入：諸収入など	1.1万円	家の修理・家電購入：投資的経費・維持補修費	1.7万円
先月からの繰り越し：繰越金	0.7万円	家族への仕送り：補助費・繰出金	11.0万円
ローン借入：市債	1.5万円	ローン支払い：公債費	2.1万円
		積立金・貯金：積立金	0.1万円
合計	30万円	合計	29.1万円

銀行の預金残高：財政調整基金 5.8万円

医療費が多くかかっています。給与に占める食費や医療費、ローンの支払いなどの固定的な支払いが多く、ゆとりのない生活が続いていて、将来のために必要な貯金にほとんど回せません。



このままではいけないね。お金の使い方を見直したり、収入の増やし方を考えたりしてみよう。

財政健全化比率と資金不足比率

財政健全化比率は、4つの指標で市の財政の健全度を判断するもので、本市はいずれの指標も早期健全化基準未満でした。また、各公営企業(水道事業会計など)において資金不足は生じませんでした。

